

Bonjour

ボンジュール!!

2017年
3月30日号

Vol.350



トランプ政権混迷中の今、「ディフェンシブ」に注目

● 目玉のオバマケア代替案を撤回

2017年3月24日、トランプ米大統領は目玉政策の「オバマケア(医療保険制度改革法)代替案」を撤回しました。オバマケアの見直しで削減した社会保障費を、法人減税やインフラ投資などに充てる政策を描いていた政権の思惑が打ち砕かれた格好となりました。

この影響で先行き不透明感が強まり、足元、急激にドル安(円高)が進みました。

● トランプ相場に「黄信号」?

2016年11月にトランプ氏が大統領選挙で勝利して以降、株式市場は力強く上昇し、米ドル・円相場は米ドル高(円安)の傾向を続け、「トランプ相場」を形成しました。

その背景は、「法人減税やインフラ投資が米国景気に追い風となる」という期待感でした。しかし、今回の撤回でトランプ政権の先行きが不透明となり、マーケットのリスク・オフ(リスク回避)姿勢が強まっています。

● 注目集まるディフェンシブ株式

不透明な環境下、マーケットがリスク・オフのモードに入ると注目される投資対象のひとつに、ディフェンシブ株式があります。ディフェンシブ株式とは文字通り、その他の業種と比べて守りに強い傾向にある株式をいいます。具体的には、電力・ガス・水道などの公益事業や食品・医薬品など生活に必要不可欠な

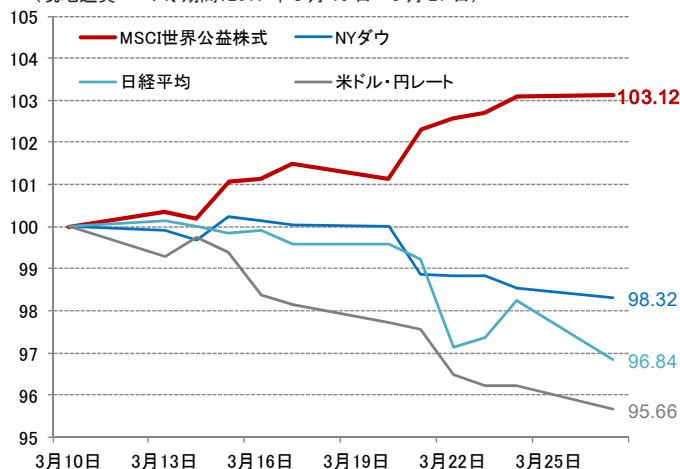
業種の株式です。これらの企業は、①景気の良し悪しに影響されにくい②他の業種に比べて相対的に収益基盤が安定していること③配当利回りが相対的に高い傾向にあることが特徴です。

公益企業の株式の直近の株価も、今回の「オバマケア代替案撤回」を受けた資金の退避先となり、比較的好調に推移しています。

景気の動向によって受注や業績が変動しやすく、結果として株価も変動しやすい銘柄群だけではなく、相場不透明時の備えとしても保有できる「ディフェンシブ株式」にも注目しておきましょう。

■ 足元の価格推移

(現地通貨ベース、期間:2017年3月10日~3月27日)



※MSCI世界公益株式:MSCI世界公益株価指数 NYダウ:NYダウ工業株30種平均、日経平均:日経平均株価 出所:ブルームバーグのデータを使用しピクテ投信投資顧問作成

※MSCI 指数は、MSCI が開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI に帰属します。またMSCI は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

●当資料はピクテ投信投資顧問株式会社が作成した資料であり、特定の商品の勧誘や売買の推奨等を目的としたものではなく、また特定の銘柄および市場の推奨やその価格動向を示唆するものでもありません。●運用による損益は、すべて投資者の皆さまに帰属します。●当資料に記載された過去の実績は、将来の成果等を示唆あるいは保証するものではありません。●当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成されていますが、その正確性、完全性、使用目的への適合性を保証するものではありません。●当資料中に示された情報等は、作成日現在のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。●投資信託は預金等ではなく元本および利回りの保証はありません。●投資信託は、預金や保険契約と異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の対象ではありません。●登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。●当資料に掲載されているいかなる情報も、法務、会計、税務、経営、投資その他に係る助言を構成するものではありません。